

新改訳、口語訳では「ヘブル語」、新共同訳では「ヘブライ語」

●新約聖書では 11 回、以下の箇所に使われています。

<新改訳改訂第 3 版>

(1) ヨハネ 5:2

さて、エルサレムには、羊の門の近くに、**ヘブル語**でベテスタと呼ばれる池があって、五つの回廊がついていた。

(2) ヨハネ 19:13

そこでピラトは、これらのことばを聞いたとき、イエスを外に引き出し、敷石(**ヘブル語**ではガバタ)と呼ばれる場所で、裁判の席に着いた。

(3) ヨハネ 19:17

彼らはイエスを受け取った。そして、イエスはご自分で十字架を負って、「どくろの地」という場所(**ヘブル語**でゴルゴタと言われる)に出て行かれた。

(4) ヨハネ 19:20

それで、大ぜいのユダヤ人がこの罪状書きを読んだ。イエスが十字架につけられた場所は都に近かったからである。またそれは**ヘブル語**、ラテン語、ギリシヤ語で書いてあった。

(5) ヨハネ 20:16

イエスは彼女に言われた。「マリヤ。」彼女は振り向いて、**ヘブル語**で、「ラボニ(すなわち、先生)」とイエスに言った。

(6) 使徒 6:1

そのころ、弟子たちがふえるにつれて、ギリシヤ語を使うユダヤ人たちが、**ヘブル語**を使うユダヤ人たちに対して苦情を申し立てた。彼らのうちのやもめたちが、毎日の配給でなおざりにされていたからである。

(7) 使徒 21:40

千人隊長がそれを許したので、パウロは階段の上に立ち、民衆に向かって手を振った。そして、すっかり静かになったとき、彼は**ヘブル語**で次のように話した。

(8) 使徒 22:2

パウロが**ヘブル語**で語りかけるのを聞いて、人々はますます静粛になった。そこでパウロは話し続けた。

(9) 使徒 26:14

私たちはみな地に倒れましたが、そのとき声があって、**ヘブル語**で私にこう言うのが聞こえました。『サウロ、サウロ。なぜわたしを迫害するのか。とげのついた棒をけるのは、あなたにとって痛いことだ。』

(10) 黙示録 9:11

彼らは、底知れぬ所の御使いを王にいただいている。彼の名は**ヘブル語**でアバドンといい、ギリシヤ語でアポリュオンという。

(11) 黙示録 16:16

こうして彼らは、**ヘブル語**でハルマゲドンと呼ばれる所に王たちを集めた。